

# ならばい・たより

三者協働による里山再生を目指します。

ゆいのさと  
NPO法人まちだ結の里

秋はイベントがたくさんありました、時系列で記載していきます。

1) サツマイモ掘りイベント

大久保さんが「11月16日～27日市役所イベントホールでの展示、10月18日小山田緑地散策&落花生掘り、9月27日芋掘りのイベント写真が撮られています。大久保さんありがとうございます。

2) 関東・水と緑のネットワーク拠点100選に選択され講演会で紹介され、市役所訪問をしました。



10月6日市役所を訪問



10月3日の講演会における記念写真

10/21日の広報「まちだ」一面に掲載され散策者が増加しています。

3) 11月8日、キラリ町田へ出店しましたその時の様子です。写真は中尾 博氏の提供



ブースで担当された方々、雨の中ご苦労様でした。

「天候の影響?もあり人出や盛り上がりがいまいちの様でした。そんな中でも結の里のブースは、なかなかの盛況でした。テーマの一つ、まちだ結の里の活動内容も良くPR出来たと思います。

人材募集の方は、活動募集に誘導しましてもなかなか厳しい状況でしたが、中には希望持てる方も数名(4~5名?)居られ期待したいです!」(雪下さん)

12月2日に3名ほど来られていました。

4) 稲刈を下記の日程で実施しました。

(本年度の奈良ばい谷戸・東谷戸合わせた稲作の収穫量は 988.5 kg)

稲刈 10月10日 東谷戸  
10月17日 奈良ばい谷戸  
10月21日 奈良ばい谷戸  
10月24日 東谷戸 (谷合さんの田んぼ)



10月30日 東谷戸 脱穀  
10月31日 脱穀 東谷戸、奈良ばい  
サツマイモ掘り 精舎学園園児  
11月5日 粃干し、キラリ町田準備  
11月6日 脱穀準備 東谷戸  
11月7日 脱穀 東谷戸

中尾さんが「結の里 2013-2015 年度稲作収穫量(粃)」の表をまとめてくださいました。

## 結の里 2013年度～2015年度稲作収穫量(粍)

場所	収穫年度	田植日	稲刈日	脱穀日	収穫量 (KG)	はざかけ		その他
						総延長 (M)	パイプ 本数	
奈良(い谷戸・トキ谷戸)	2013年度	6月16日	10月6日	11月4日		—	—	・古代米を除く ・サンプル米は含む
	2014年度	6月14日	10月18日	11月8日		—	—	
	2015年度	6月13日	10月10日・ 14日	10月31日	530.0	159.3	54.0	
東谷戸(石屋さんの裏)	2013年度	—	—	—	—	—	—	
	2014年度	—	—	—	—	—	—	
	2015年度			10月31日	40.0	25.0	固定	
東谷戸(道路側の5枚)	2013年度					—	—	
	2014年度					—	—	
	2015年度			11月7日	106.0	31.0	10.5	
東谷戸(谷合さんの田圃)	2013年度			—	—	—	—	
	2014年度 (1枚)					—	—	
	2015年度 (2枚)			11月7日	312.5	81.1	27.5	
<b>合計</b>	2013年度	—	—	—		—	—	
	2014年度	—	—	—		—	—	
	2015年度	—	—	—	988.5	—	—	
サンプル米(奈良(い谷戸))	2013年度	6月16日	10月6日	11月4日	2.0	稲穂1本当りの収穫量:1.85G	詳細なデータは別途あり	
	2014年度	6月14日	10月18日	11月8日	2.1	稲穂1本当りの収穫量:1.94G		
	2015年度	6月13日	10月10日・ 14日	10月31日	1.9	稲穂1本当りの収穫量:2.09G		
古代米	2013年度					—	—	作付田圃が違うため参考値
	2014年度					—	—	
	2015年度					—	—	

芹沢さんが、サンプリングから、計量、まとめ、表作成まで行っていただき下記のようにになりました。

## 奈良ばい谷戸／水田稲作(糯米) サンプリング結果

*1 水田 No. および 採取場所	年度	*2 総本数 (本/11 株)	質量(g)				籾の数(粒)		備考(1)	備考(2)
			総量(11株)		1本当たり		*3 総数 /5本	1本 当たり		
			選別前	選別後	選別前	選別後				
入口	NO.1	2013	159	283	271	1.780	1.704	706	141	
		2014	154	318	312	2.065	2.026	822	164	
		2015	139	249	244	1.791	1.755	764	153	764/18=42.4
		2016								
		2017								
	NO.6	2013	153	357	350	2.333	2.288	790	158	
		2014	178	309	301	1.736	1.691	728	146	青米多し
		2015	152	335	330	2.204	2.171	692	138	692/18=38.4
		2016								
		2017								
中央	NO.1	2013	159	305	298	1.918	1.874	620	124	
		2014	166	317	311	1.910	1.873	708	142	
		2015	123	224	219	1.821	1.780	559	112	559/14=39.9
		2016								
		2017								
	NO.6	2013	174	307	299	1.764	1.718	659	132	
		2014	164	274	267	1.671	1.628	666	133	青米多し
		2015	178	398	390	2.236	2.191	846	169	846/21=40.3
		2016								
		2017								
出口	NO.1	2013	257	391	383	1.521	1.490	654	131	
		2014	191	480	473	2.513	2.476	805	161	
		2015	195	494	485	2.533	2.487	844	169	844/20=42.8
		2016								
		2017								
	NO.6	2013	221	433	419	1.959	1.896	694	139	
		2014	273	482	475	1.766	1.740	768	154	
		2015	140	237	230	1.693	1.643	655	131	655/17=38.5
		2016								
		2017								
小計	NO.1	2013	575	979	952	2	2	1980	132	
		2014	511	1115	1096	2	2	2335	156	
		2015	457	967	948	2	2	2167	145	2167/52=41.7
		2016								
		2017								
	NO.6	2013	548	1097	1068	2	2	2143	143	
		2014	615	1065	1043	2	2	2162	144	
		2015	470	970	950	2	2	2193	146	2193/56=39.2
		2016								
		2017								
合計	2013	1123	2076	2020	2	2	4123	138		
	2014	1126	2180	2139	2	2	4497	150		
	2015	927	1937	1898	2	2	4360	146	4360/108=40.4	
	2016									
	2017									

①作業

年度	種蒔	田植	刈取	脱穀
2013		6/16	10/6	11/4
2014		6/14	10/18	11/8
2015		6/13	10/10	
2016				
2017				

②採取場所 (\*1)

③総本数 (\*2)

約 1㎡当たりの株数

④籾総数 (\*3)

各々の採取場所でも量の  
籾数があるものを5本選択  
(ただし、不良米は除外)

1本当たりの小計はNo1の同年を  
合計し3で割り四捨五入  
籾の数も同様の計算

1本当たりの合計は小計のNo1と6  
の同年を合計し2で割り四捨五入  
籾の数も同様の計算

イベント、稲刈り、脱穀、精米、畑の作業と忙しい中での大変な作業ご苦労様でした。

## 5) 孟宗竹林、真竹林の調査を実施

計測の方法は、地面より 1.5 m のところにある節の周囲と関節の長さを計測、計測の単位は Cm で mm まで計測しました。

孟宗竹林は、おおむね 1050 m<sup>2</sup>、その中を 10m 四方 100 m<sup>2</sup> を 2 か所選択し合計 200 m<sup>2</sup> を調査しました。

2014 年は全ての竹 平均周囲 33.2 cm、平均節間 23.1 cm 67 本

内 今年発生の竹 平均周囲 32.5 cm、平均節間 22.2 cm 14 本

古い竹 平均周囲 33.4 cm、平均節間 23.4 cm 53 本

200 m<sup>2</sup> で 67 本、1050 m<sup>2</sup> でおよそ 427 本の総数と推測しました。

2015 年は全ての竹 平均周囲 33.3 cm、平均節間 23.4 cm 68 本

内 今年発生の竹 1 本 古い竹 67 本でした。

孟宗竹林の利用として筍、竹炭に利用していますので、現状の本数で十分と考えられます。

今のところ竹炭は竹林外の孟宗竹が利用されていますが、外部の竹の伐採が終了した時は筍と材での利用で残す本数について調整が必要です。

孟宗竹林の周囲の竹穂垣の見栄えを良くできたらいいですね。

真竹林 面積を計測していないので総本数は推定しておりません、

2015 年孟宗竹林と同様の調査方法で調査、選定地区一か所 100 m<sup>2</sup> を 2 か所で 200 m<sup>2</sup> にあつた総本数は 93 本  
平均周囲 13.2 cm、平均節間 25.9 cm という結果でした。

現状真竹の利用は材としての利用しかしていません、一部筍の利用も可能です。

近年の大雪で真竹の稈が曲がり材としての利用が難しい竹が増えています

雪害をなくすためには、現状の倍程度の密度にして雪害が防げるのか試したい。

胸高（地上 1.5m）の周囲、節間は、竹の図鑑紹介の値に入っているようですが、太さについては、ばらつきが多く、材としての利用には統一性がなく向いていないようです。（太すぎたり、細すぎたり）

竹の図鑑紹介の値では、周囲 5~12 cm、節間 15~20.9 cm ですが密度についての記述はありません。

稲架掛けへの利用は最近便利な稲掛けがあり、大量使用の利用が少ない、可能であれば通路を区別するカントリーヘッジとして利用していきたい、地上高は 30 cm 程度とあまり目立たないが通路外への侵入を防ぐ方法として有効ではないでしょうか。（他の有効利用も考慮したい。）

## 6) 奈良ばいの振り返り写真集 No3 桜井さんの写真を使用（今回で振り返りを終了します。）

2005 年 11 月 12 日ごろの第 2 回の作業風景（第 1 回は 10 月 24 日ごろで作業は無かったようです）



現在のイヌザクラ広場あたりで鎌の使い方の注意を受けています。



イヌザクラ広場、くずで囲まれた四角いものがある場所が現在イヌザクラ広場で体操をしている場所です。教わった鎌を持ち草刈りに立ち向かっているところです。



一番下の池のあたりと思います。

葦の原っぱ、足元の悪さがわかります。



一番下の田んぼができる前の状態と思います。



刈り払い機も使用して、ちょっと効率アップ。



刈取った草、木の始末も同時進行



昼休みトキ谷戸も、周りの広場、休憩所の場所もまだうっそうとしています。

たぶん、作業終了に近い時間と思います。  
すごくきれいになって見渡せるようになっています。





当日出てきた沢蟹とカエルの写真



ニホンアカガエルではないかと思いますが違ってましたら連絡願います。

### 第3回目の作業風景



トトキ谷戸、木（多分ヤナギ）も生えています。



よく見るとまだ畑で作物を作っていました。

